第４５回全国高等学校柔道選手権大会東北地区柔道大会における

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策について

東北高等学校体育連盟柔道専門部

参加校は感染症対策の項目について教職員、生徒及び保護者応援者に周知ください。

１　会場への入場を認められる方

（１）部員、顧問、引率者（外部コーチ、部活動指導員を含む）、大会役員、競技役員、審判員、補助員な

　　　ど。

（２）競技専門部から認められた来賓（大会役員）、報道関係者、視察者（大学等）など。

（３）保護者応援（選手１名につきご家族２名まで）。

（４）上記以外の入場者については、高体連専門部で協議する。

２ 会場入場の条件

1. 部員・顧問・引率者（チーム用健康記録表）・保護者（入場者確認票）

　　①大会前１週間及び大会期間中において、３７度5分以上の発熱、味覚・嗅覚異常、強い倦怠感等の

　　　症状がないこと。

　　②健康記録表兼同意書において、健康状態の欄に異常がないこと。

1. 大会役員・競技役員・審判員・来賓・視察・報道・その他入場を認められた方（入場者確認票）

　　①入場者確認票の健康に関する問診（入場日１週間前における以下の事項の有無 ①から⑧）において

　　　該当項目がないこと。

　　②入場者確認票を提出していること。

３　感染防止に関すること

（１）上記の健康に関する問診で該当する項目のある方は、自主的に参加を見合わせること。

（２）マスクを持参すること。

（競技以外の場面では常にマスクを着用すること）

（３）こまめな手洗い、アルコール消毒による手指消毒を実施すること。

（４）参加者、大会役員、競技役員等との距離（できるだけ２ｍ以上）を確保すること。

（障害者の誘導や介助を行う場合を除く）

（５）大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと。

（６）大会の前後のミーティング等においても三つの密を避けること。

（７）各自のゴミは各自で持ち帰ること。（特に唾液の付いたものは袋に入れる）

（８）会場等で急に風邪症状等の生徒が出た場合は、当該校監督等が保護者及び各学校管理職に連絡し帰

　　　宅させること。

（９）感染防止のために主催者が決めた遵守事項や指示に従うこと。

（10）観客席では、座席を一つずつ空けて座り、飲食については対面せず、黙食とする。

（11）宿泊する場合は、部員同士及び他の宿泊客との密接を避けるなど感染防止対策に努めること。

４　大会前・後及び開催期間中に感染が判明した場合

（１）開催や中止（全体・一部）の判断は、関係者と協議し県教育委員会の指示を仰いで高体連柔道専門

　　　部が決定する。

（２）感染確認前の２週間について行動歴の調査を依頼することがある。

（３）大会終了後１週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。 各県委員長へ報告、各県委員長は東北委員長へ報告。

 ※感染状況に大幅な変化が生じた場合はその都度協議する。